

こえに だして よみましょう。

かにのしょうばい①

にいみなんきち
新美南吉

蟹かにがいろいろ考かんえたあげく、と
こやをはじめました。蟹かにの考かんえと
してはおおできでありました。



ところで、蟹かには、

「とこやというしょうばいは、たいへんひまなもの
だな。」

と思おもいました。と申もうしますのは、ひとりも客きやくさん
がこないからであります。

そこで、蟹かにのとこやさんは、はさみをもって海うみっ
ぱたにやっていきました。そこにはたこがひるね
をしていました。

「もしもし、たこさん。」

と蟹かにはよびかけました。